

自閉症スペクトラムの子どもへの 指導・支援

東京学芸大学 教職大学院
准教授 増田 謙太郎



Gakugei 東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

自閉症スペクトラム (ASD)

Autism Spectrum Disorder: ASD

言語だけではない

・ 社会的コミュニケーション および
対人的相互作用における持続的な問題

・ 行動、興味または活動の 限定された
反復的な様式

いわゆる「こだわり」

・ 症状は発達早期に存在

アスペルガー症候群

高機能自閉症

広汎性発達障害



いろいろある似たような診断名をまとめた

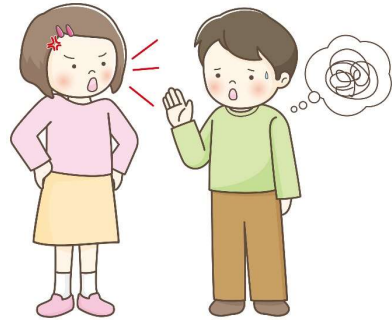


自閉症スペクトラム:ASD

Autism Spectrum Disorder:ASD



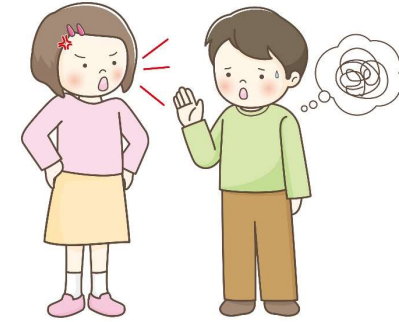
「スペクトラム」とは？



コミュニケーション
ちょっと苦手かな？



コミュニケーション
通じないのかな？



コミュニケーション
する気ないでしょ？

定型発達

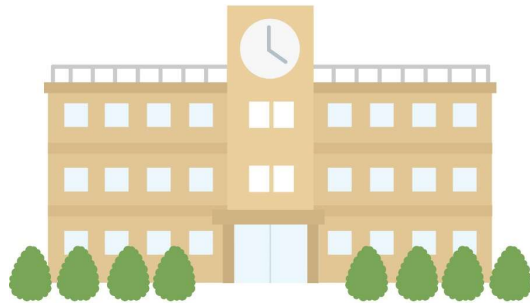
「ASD」の特性が強い

ASD (小学生・中学生) よくあるパターン



なんだ、その態度は！
やる気がないなら帰っていいんだぞ！

ASD



本当に帰ってしまう

「理解不能」の扱いを受けやすい

ASD (小学生・中学生) よくあるパターン



椅子をガタガタさせないでって
何回言わせるの!?



ASD

3回かな、今週通算10回目

「ふざけている」と誤解されやすい

いえーい!

ASD



先生!ブランコ代わって
くれませんか!



みんながイヤな
思いするからね。
順番だよ。



あと10回やったら
終わりね

これだとわかる

通じない

「共感的な声かけ」が通用しにくい



共感？よくわからない

「社会的コミュニケーション」は、
「なんとなくわかる」という感覚に
満ちあふれている



その理屈ならわかる!

「なんとなくわかる」のは
苦手だけど
「理屈」は得意。



ASDの子どもへの対応のコツのひとつ



生活場面での指導

友だちが「風邪で休む」と聞いたとき



〇〇さんは、コロナだね。
学校来てほしくないね。



そういうときは
「お大事に」って言うんだよ。

具体的な「言葉」「言い回し」を教える



生活場面での指導

「失礼な言動」が目立つとき



あの人、なんであんなに太ってるの？



人の身体のことは
言ってはいけないんだよ

具体的に「何がよくないことか」を教える



学校における指導・支援の実際

① 社会的コミュニケーションの困難



ASDの子どもにとってわかりやすい
「言葉」、「コミュニケーションの在り方」を駆使
していく

② こだわり

電車の駅名

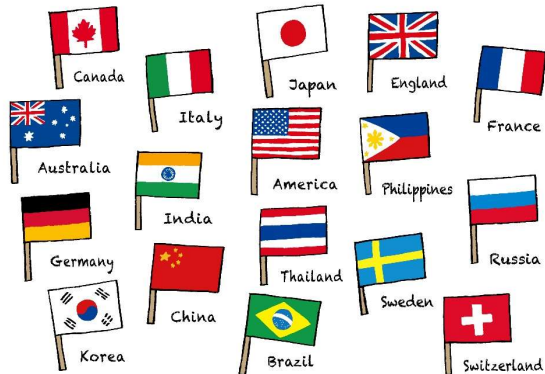
中央線は東京、神田、
お茶の水、水道橋、飯田橋、
市ヶ谷、四ツ谷、信濃町、千駄ヶ谷……

野球選手の打率

山田.294
佐藤.277
鈴木.275……



世界の国旗



※ラフな手描きのため、きっちりしたバランスや細部の正確さはありません

水族館のサカナ

水族館には、クロウミウマ、
ウスモモテンジクダイ、ヒ
カリイシモチ、アンナウミウ
シ……

興味ないことはやる気なし



東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

学校における指導・支援の実際

② こだわり



学校で問題になるのは
対人関係上の「こだわり」または「決めつけ」

対人関係上の「こだわり」または「決めつけ」

いつも怒られてばかり

ほめられたことがない

また、僕だけ!

あいつが悪い!

昔からそうだったから...



子どものペースに巻き込まれやすい



子どものペースに巻き込まれるパターン例

いつも怒られてばかり・・・



大丈夫だよ、安心して



じゃあ、授業でなくていい？



要求がかなわないと不適切な行動へ
無理やり合わせたところで、教師も疲弊する



一般的な指導の基本は「共感」だけど・・・

いつも怒られてばかり・・・



そんなことないって!

共感的な対応

「共感的な対応」が通じないことが多い



子どもの「こだわり」に巻き込まれない

いつも怒られてばかり・・・



そうやって気持ちを
伝えてくれてうれしいよ

別の視点からの「肯定的なフィードバック」

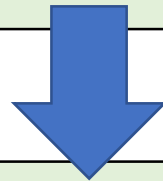
次の指導に展開できる可能性

いつも怒られてばかり・・・



そうやって気持ちを
伝えてくれてうれしいよ

肯定的フィードバック



じゃあ、どうしたらいいか
一緒に考えてみようか



子どもの「こだわり」に巻き込まれないポイント

いつも怒られてばかり



ピン!



あっ、これは「決めつけ」だな!



まず、教師自身の中で、
子どもの「決めつけ」に気付き、
「決めつけ」をカットする



「決めつけ」をカットして、指導に進む方法

あいつ殴ってやりたい!



でも、我慢しているから
すごいよね。

肯定的フィードバック

どうしたらいいか
紙に書いて考えてみようか

子どもの特性に応じた指導=特別支援教育



参考文献

- ・野尻英一 他(編)(2019)『〈自閉症学〉のすすめ -オーティズム・スタディーズの時代-』ミネルヴァ書房
- ・白石勸(2019)『自閉症の子どもたちと”恐怖の世界”-これで自閉症がわかる!』花伝社
- ・小栗正幸 他(2019)『思春期・青年期トラブル対応ワークブック』金剛出版
- ・ななしのうい(2019)『発達障害の私が夫と普通に暮らすために書いているノート』G.B.
- ・松浦直己(2018)『教室でできる気になる子への認知行動療法 「認知の歪み」から起こる行動を変える13の技法』中央法規
- ・川上ちひろ・木谷秀勝(編)(2019)『発達障害のある女の子、女性の支援 -「自分らしく生きる」ための「からだ・こころ・関係者」のサポート』金子書房

